

地震、風水害（台風）、不審者、火災の対応マニュアル

平成30年4月改訂
国立大学法人香川大学

目次

1 地震対応マニュアル

ア	対応の流れ（平日／夜間・休日）	1、2
イ	注意事項（地震発生時）	3、4
ウ	連絡先一覧（地震発生時）	5
エ	避難状況報告の流れ図	19

2 風水害（台風）対応マニュアル

ア	対応の流れ	6
イ	注意事項（風水害発生時）	7
ウ	連絡先一覧（風水害発生時）	8
エ	被害状況の報告	19

3 不審者対応マニュアル

ア	対応の流れ（平日／夜間・休日）	9、10
イ	注意事項（不審者発見時）	11、12
ウ	連絡先一覧（不審者発見時）	13
エ	避難状況報告の流れ図	19

4 火災対応マニュアル

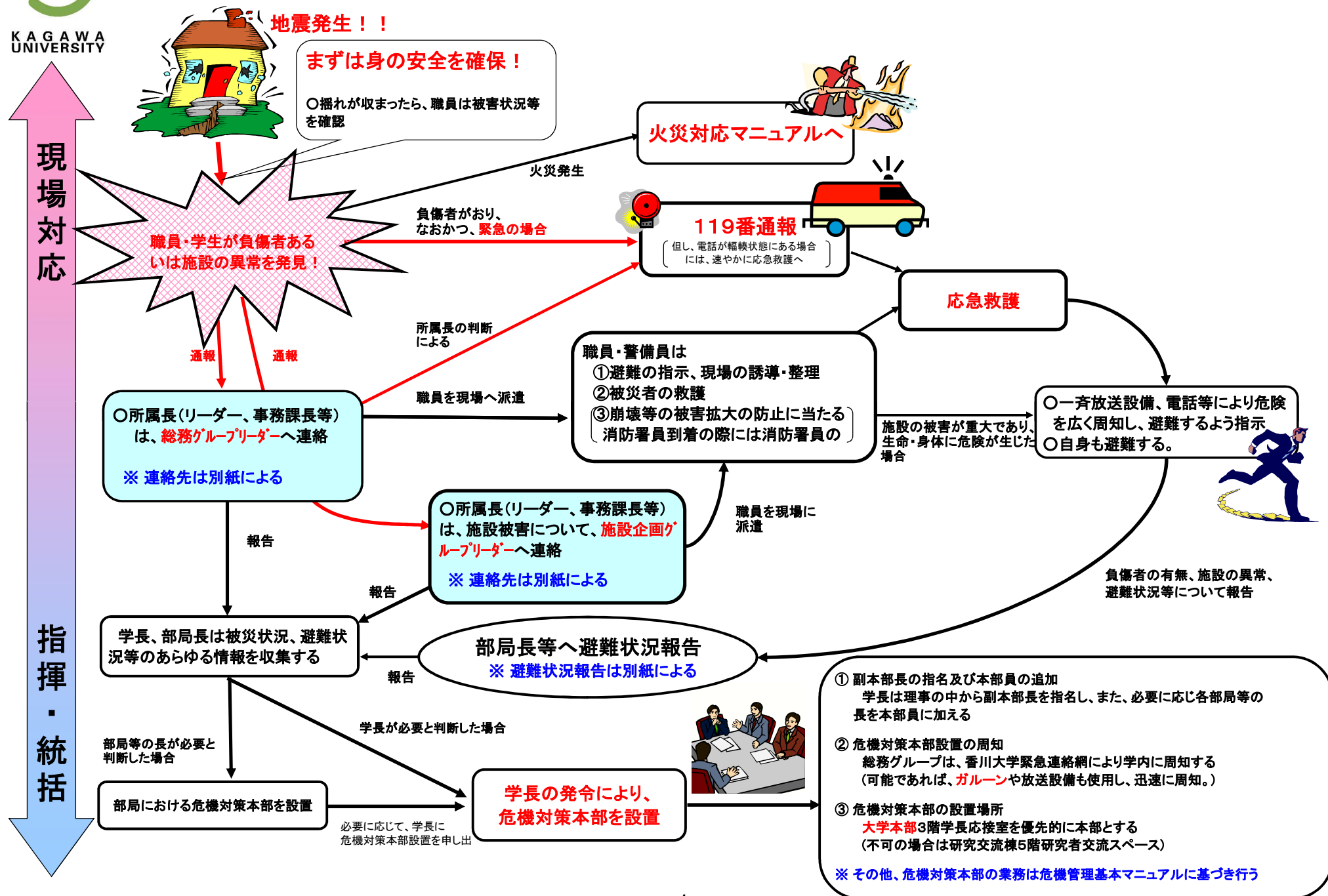
ア	対応の流れ（平日／夜間・休日）	14、15
イ	注意事項（火災発生時）	16、17
ウ	連絡先一覧（火災発生時）	18
エ	避難状況報告の流れ図	19

5 共通事項、様式等

		19
ア	避難状況報告の流れ図	
イ	被害状況調査票（学校管理下の人的被害、休校／短縮授業／始業延期の措置）	20
ウ	〃（施設被害）	21

地震対応マニュアル（平日・勤務時間中）

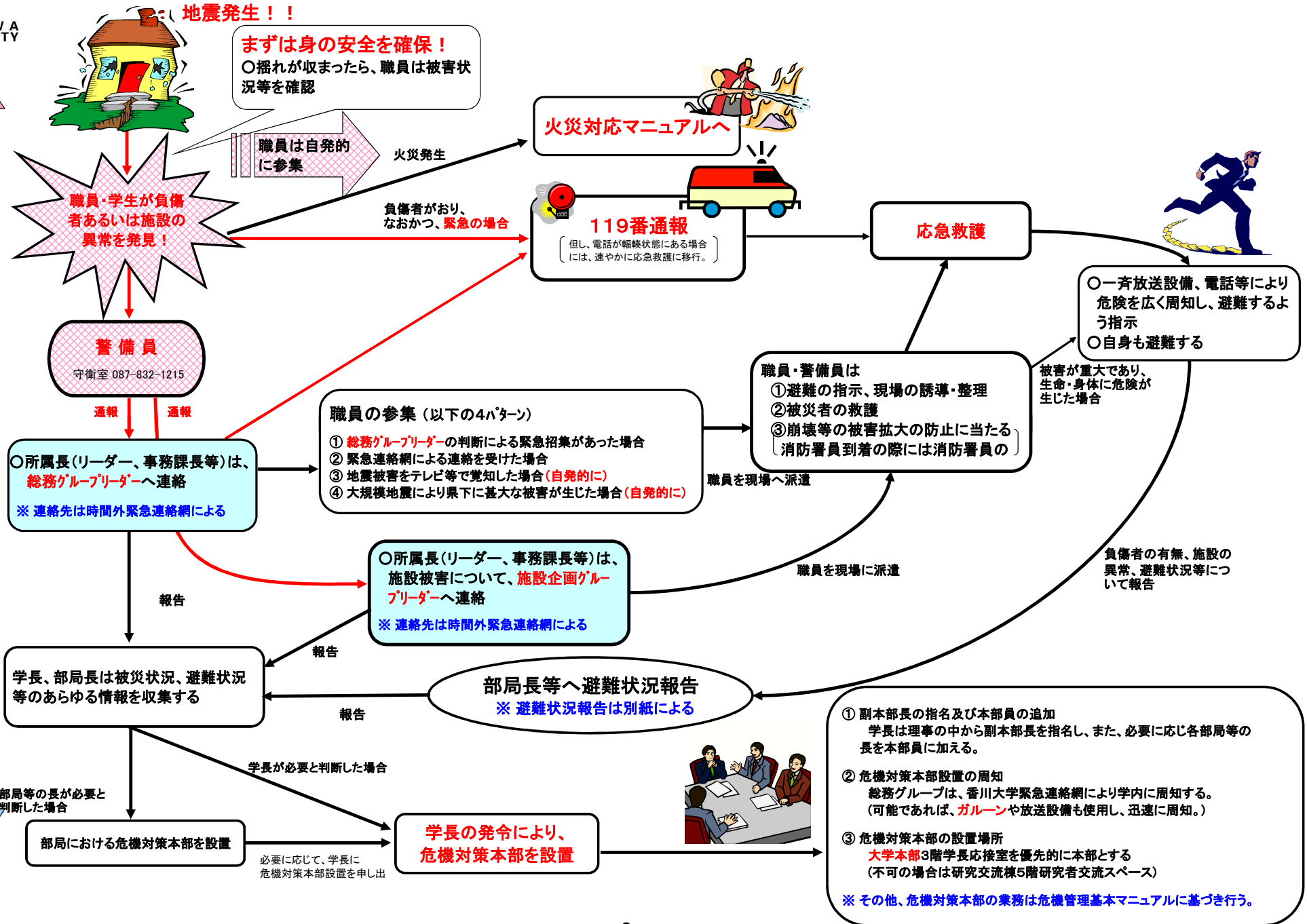
但し、附属病院、附属学校園等については、それぞれのマニュアルにより対応する





現場対応

指揮・統括



1. 地震の発生に備えて

- ・ 什器を固定するなど、転倒しないように措置を施す。
- ・ 消火器、消火栓、三角バケツ、火災報知器、放送設備等の使用方法や設置場所などを確認しておく。(避難時の連絡や出火に備えて)
- ・ 二つ以上の別な方向への避難経路を決めておく。
- ・ 廊下や出入口、階段などには避難の妨げになるようなものを置かない。
- ・ 非常持出物品の内容物及び置き場所について確認しておく。
- ・ 日頃から、使用しないときはガスの元栓を閉めておく。



2. 地震が発生したら

- ・ 地震発生から2分(まずは自分の身を守る)
 - ① 机やテーブルの下に隠れる。または、壁や柱の近くに身を寄せる。
 - ② 落下物・転倒物から、特に頭部を守る。
 - ③ ドアを開けて非常脱出口を確保する。
 - ④ あわてて外に飛び出さない。
 - ⑤ エレベーターの中にいる場合、全ての階のボタンを押し、停止した階でおりる。閉じこめられたら、非常ボタンを押して救助を待つ。
 - ⑥ 自動車を運転中は、ゆっくりと道路の左側に寄せてエンジンを切る。
- ・ 揺れがおさまったら…
 - ① 使用中の火を消す。ガスの元栓を閉める。
 - ② 電気器具のプラグをコンセントから抜く。ブレーカーを切る。
 - ③ 倒れやすくなっているもの・落下しやすくなっているものは応急措置する。
 - ④ 自動車を運転中は、ラジオで状況を把握する。避難する際は、連絡先メモを残し、キーはつけたまま、車検証を持って徒歩で避難する。



3. 火が出たら初期消火

- ・ 消火器、消火栓、三角バケツ等により初期消火を行う。
(これらの使用法は『火災対応マニュアル』参照。)

4. 崩落等の危険を発見したら

- ・ とにかく大声で周囲に知らせる。また、火災報知器を使用する。
- ・ 別紙「連絡先一覧(地震発生時)」により、担当職員へ連絡する。
- ・ 危険地域には絶対に近づかない。
- ・ 重傷者がいて一刻を争う場合は、自らの判断で119番通報する。

5. 119番通報

- ・ 落ちていて負傷者の位置と状況、負傷した理由等を正しくはっきりと知らせること。
(分かる範囲でよい。)(出火時の通報例は『火災対応マニュアル』参照。)

(例) 「救急です。」

「幸町1番地1号の香川大学大学本部3階です。」

「先程の地震による負傷者が1名おります。頭部を強打し、意識不明です。」
「私は香川大学〇〇所属の〇〇です。電話番号は〇〇〇〇です。」

- ・ 職員は、道路に出て消防車等の誘導を行う。
- ・ 職員は、消防車等の進入路の確保(バリカーの撤去等)を行う。



5. 避難指示

- ・ 放送設備または電話を使用。無理ならば、職員が各室を回り口頭連絡する。
- ・ 電話の輻輳状態(混雑してつながらない状態)の早期沈静化に協力するため、緊急通話以外の電話はしばらく控える。

(例) 「大学本部3階給湯室から出火です。」

「出火元を避けて、速やかにアメニティ広場まで避難してください。」

「リーダー(又は事務課長)は避難後、速やかに職員の避難状況の確認を行ってください。」

6. 避難するときの注意

- ・ 非常持出物品を持って避難する。
- ・ エレベーターは使用しない。
- ・ 施設に不慣れな来客者や障害者の方などの避難を積極的に支援する。
 - 施設に不慣れな方
 - ・ 避難路、避難場所等を伝達する。
 - ・ 必要に応じて誘導する。
 - 聴覚障害の方
 - ・ 所在を確認する。
 - ・ 警報情報を聴覚障害の方に筆談ボード、メモ等で情報を伝達する。必要に応じて携帯電話を活用する。
 - ・ 状況に応じて誘導、介助する。
 - ・ 避難先での情報伝達に配慮し、コミュニケーションを確保する。
 - 視覚障害の方
 - ・ 所在を確認する。
 - ・ 音声、拡大文字等で情報を伝達する。必要に応じて携帯電話を活用する。
 - ・ 状況に応じて誘導、介助する。
 - ・ 避難先での情報伝達に配慮し、コミュニケーションを確保する。
 - 肢体不自由の方
 - ・ 所在を確認する。
 - ・ 状況に応じて誘導、介助する。
- ・ ドアが変形して開かなくなることがあるので、開放して避難する。
- ・ ガラスや看板など落下物に注意し、頭部を守る。
- ・ 傾いた建物・ブロック塀・自動販売機など倒壊のおそれのあるものには近よらない。
- ・ 出火時は、姿勢を低くし、ハンカチやタオルを口と鼻に当て、煙を吸わないようにする。
- ・ いったん避難したら再び中には戻らない。



7. 避難状況の確認

- ・ 別紙「避難状況報告の流れ図」を参照のこと。
- ・ 落ち着いて、避難完了者、負傷者、要救助者等について、具体的な数字をふまえて、正しくはっきりと知らせること。

（例）「〇〇グループ職員〇〇名のうち、出張等による不在者〇〇名。残り〇〇名は無事避難しました。」

「〇〇グループ職員〇〇名のうち、負傷者が〇〇名。〇〇グループ職員〇名が救助に当たっております。残り〇〇名は無事避難しました。」

8. 情報収集

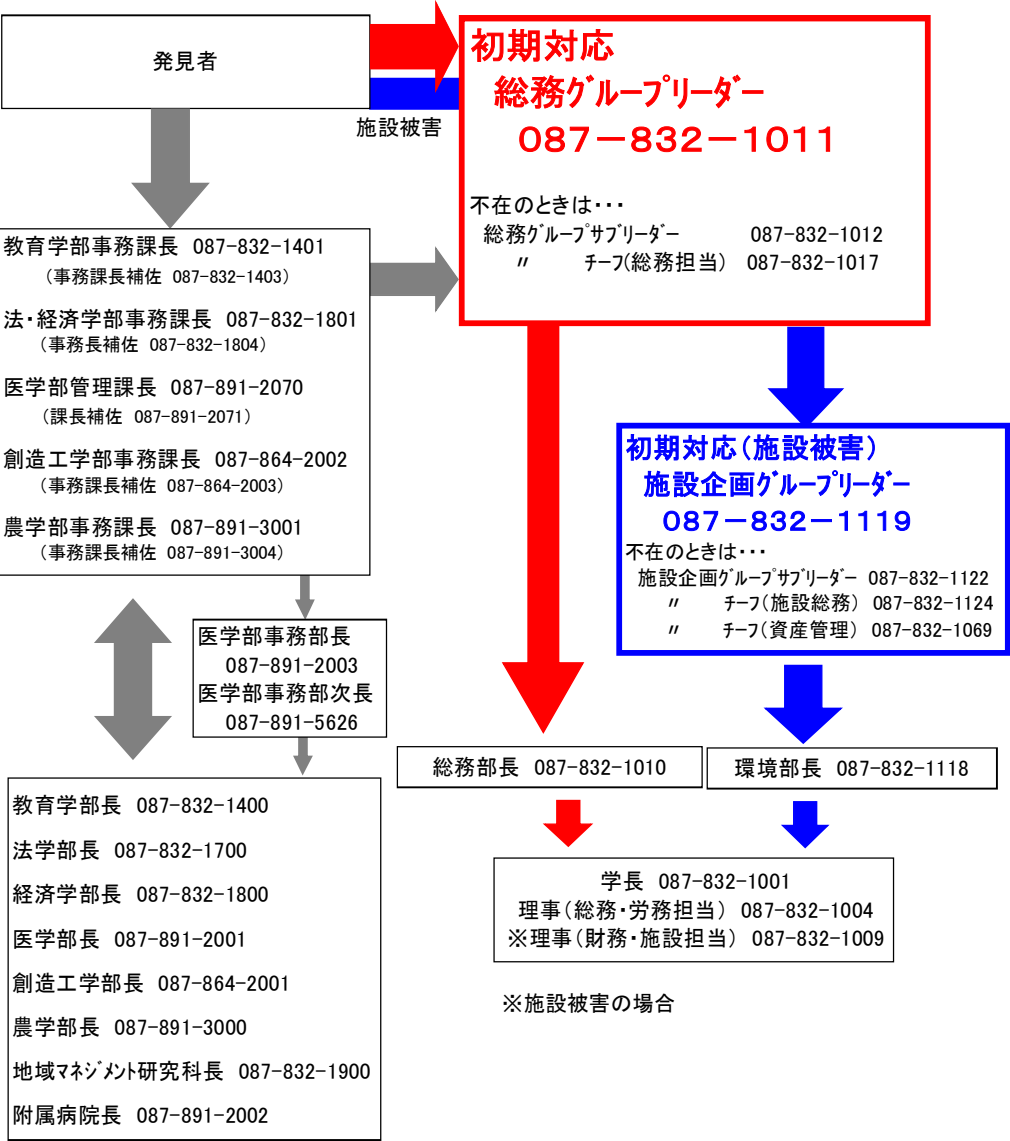
- ・ 情報は職員、テレビ、ラジオ、消防署、行政等信頼できる筋から収集する。
- ・ デマやうわさなど不確実な情報に惑わされないように注意する。
- ・ 大規模地震の際には、教職員及び学生の安否確認を行う。



連絡先一覧(地震発生時)
時間外:緊急連絡網による

別紙

主な連絡先)



その他の連絡先)

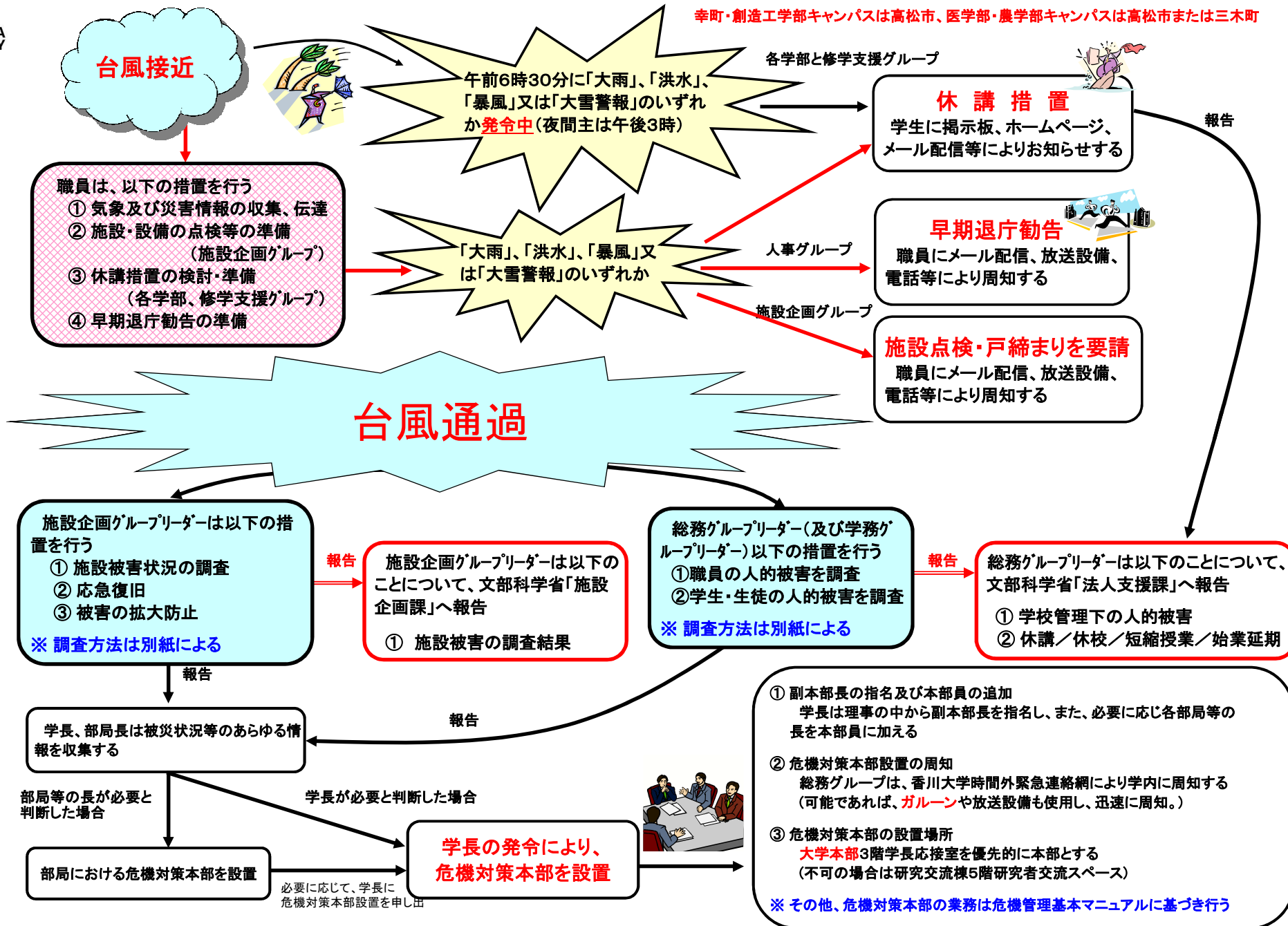
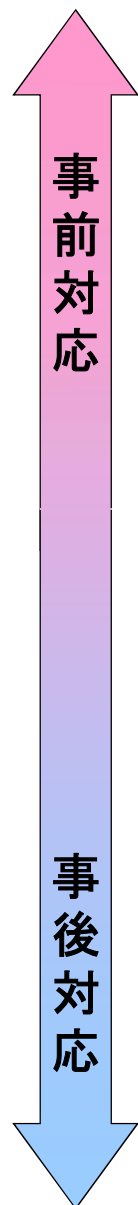
理事(教育担当)	087-832-1002
理事(研究・産学官連携・教員評価担当)	087-832-1661
理事(企画・評価・広報担当)	087-832-1660
副学長(情報・危機管理・学術・特命担当)	087-832-1003
副学長(国際戦略・グローバル環境整備)	087-832-1006
副学長(産官学連携・特命担当)	087-832-1005
副学長(医療担当)	087-832-1663
監事	087-832-1008
教育・学生支援部長	087-832-1141
学務グループリーダー	087-832-1142
修学支援グループリーダー	087-832-1150
学生生活支援グループリーダー	087-832-1160
入試グループリーダー	087-832-1180
就職支援グループリーダー	087-832-1162
教育企画担当	087-832-1143
教員免許企画担当	087-832-1175
国際グループリーダー	087-832-1177
学術部長	087-832-1310
研究協力グループリーダー	087-832-1311
情報図書グループリーダー	087-832-1241
情報グループリーダー	087-832-1031
地域・産学官連携推進グループリーダー	087-832-1356
総務部長	087-832-1010
総務グループリーダー	087-832-1011
総務グループ(秘書)	087-832-1020
人事グループリーダー	087-832-1040
給与福利グループリーダー	087-832-1042
企画グループリーダー	087-832-1030
業務改善グループリーダー	087-832-1305
広報グループリーダー	087-832-1027
財務部長	087-832-1060
経営企画グループリーダー	087-832-1061
資金グループリーダー	087-832-1080
経理グループリーダー	087-832-1105
監査室長	087-832-1101
環境整備グループリーダー	087-832-1120
医学部学務課長	087-891-2069
医学部総務課長	087-891-2020
医学部管理課長	087-891-2017
医学部経営企画課長	087-891-2045
医学部医事課長	087-891-2050
医学部医療支援課長	087-891-2053
保健管理センター(幸町)	087-832-1284
保健管理センター(医学部分室)	087-891-2364
保健管理センター(工学部分室)	087-864-2035
保健管理センター(農学部分室)	087-891-3040

風水害（台風）対応マニュアル

但し、附属学校園については、それぞれのマニュアルにより対応する

※休講対象となる警報の発表地域

幸町・創造工学部キャンパスは高松市、医学部・農学部キャンパスは高松市または三木町



1. 風水害(台風)の発生に備えて

- ・ 周辺地域の過去の災害や、被災の危険度について確認しておく。
(危機管理基本マニュアルの資料「香川県津波浸水予測図」及び「土砂災害危険箇所図」参照)
- ・ 日頃から施設・設備の維持管理に心がける
 - ① 屋上のルーフトレイン周りの掃除
 - ② 屋外排水溝の掃除



2. 風水害(台風)の危険が迫ったら

- ・ 随時、より正確な気象警報、洪水予報などの災害情報を把握する。
- ・ 休講・休校など学生・児童の安全確保の措置を講じる。
- ・ 構内やその周辺、屋上等に強風で飛散しやすい物を設置しないようにする。
- ・ 看板、防球ネット、サッカーゴール等、転倒すると危険な物はあらかじめ倒しておくか、撤去する。
- ・ 出入口や窓はしっかりと閉鎖し、必要に応じ外部面の窓ガラスを保護する。
- ・ 浸水の恐れがある地区では、必要に応じ、土のう、止水版などをあらかじめ設置する。
- ・ 重要な書類、機器類、図書類、教材類や薬品類などの危険物をできるだけ、安全な場所へ移動する。



3. 被災後の安全確認

- ・ 速やかに障害物の除去等被災後の片付けを行い、必要に応じ応急修理や危険箇所への立入禁止措置など所要の安全対策を講じる。
- ・ 施設に異常が認められる場合は、専門家による応急危険度調査等を実施し、安全性の確認を行う。
 - 斜面の崩落の危険、建物の傾斜など
- ・ 浸水等により施設内が汚染された場合には、清掃に加え防疫薬剤の散布など衛生管理に必要な措置を講じる。
- ・ 電気、ガス、水道等のインフラ施設の機能・安全性を確認する。
 - 特に、電気系統に浸水被害がある場合には専門業者による点検で安全を確認するまでは、通電、作動を行わないように注意。



4. 被災した施設の早期復旧に向けて

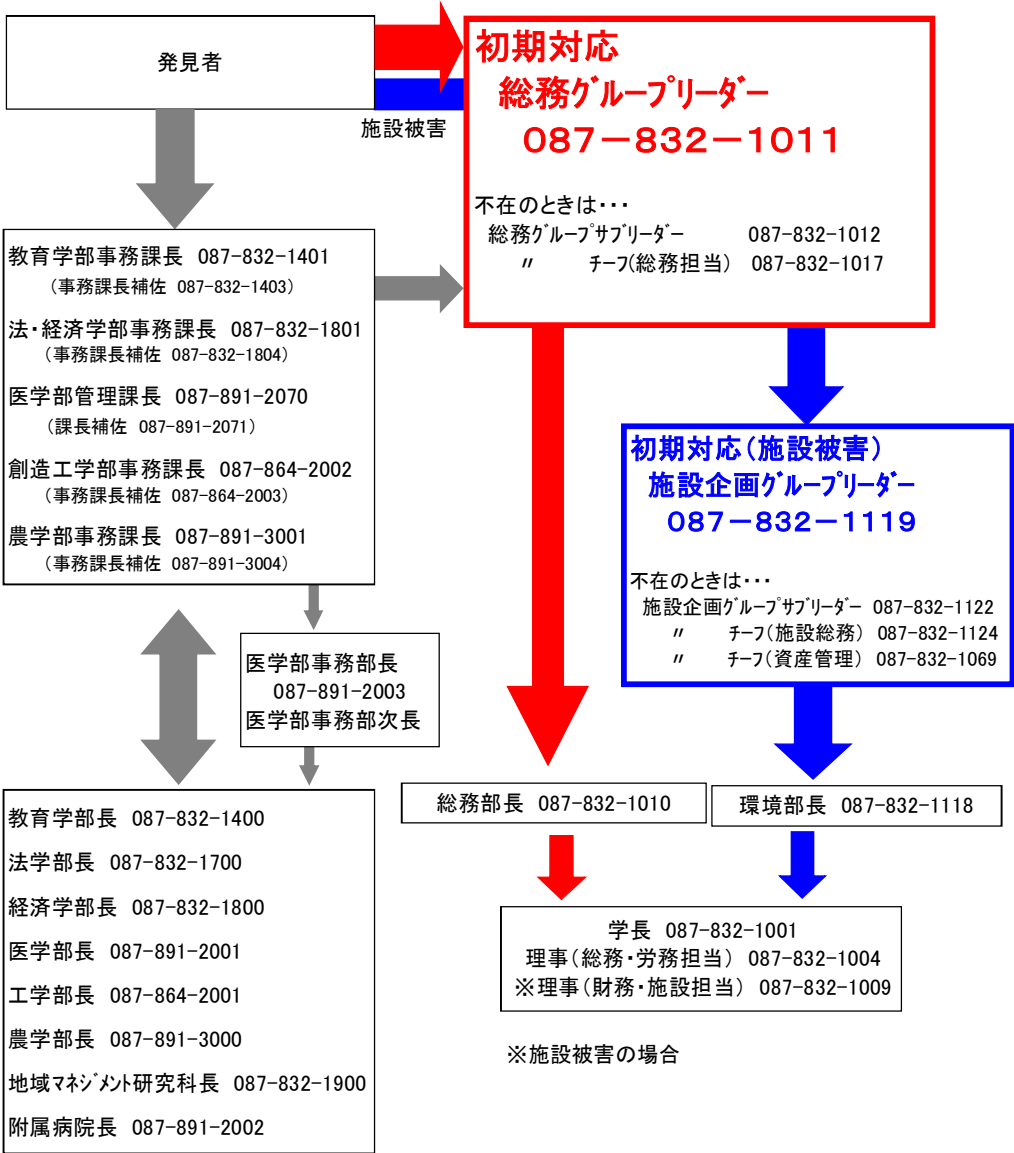
- ・ 迅速に被害状況を調査し、写真等の資料とともに現況を確実に記録する。
- ・ 被害の拡大や二次災害の危険がないよう、必要に応じ被災施設の応急復旧や増破防止の養生等の措置を講じる。
- ・ 復旧事業の早期開始のため、迅速・的確に関係諸機関への被害報告書及び復旧事業計画書の作成を行う。
- ・ 復旧事業に必要な施設・整備に係る台帳等の資料は、平常時から適切に管理しておく。



連絡先一覧(風水害(台風)発生時)
時間外:時間外緊急連絡網による

別紙

主な連絡先)

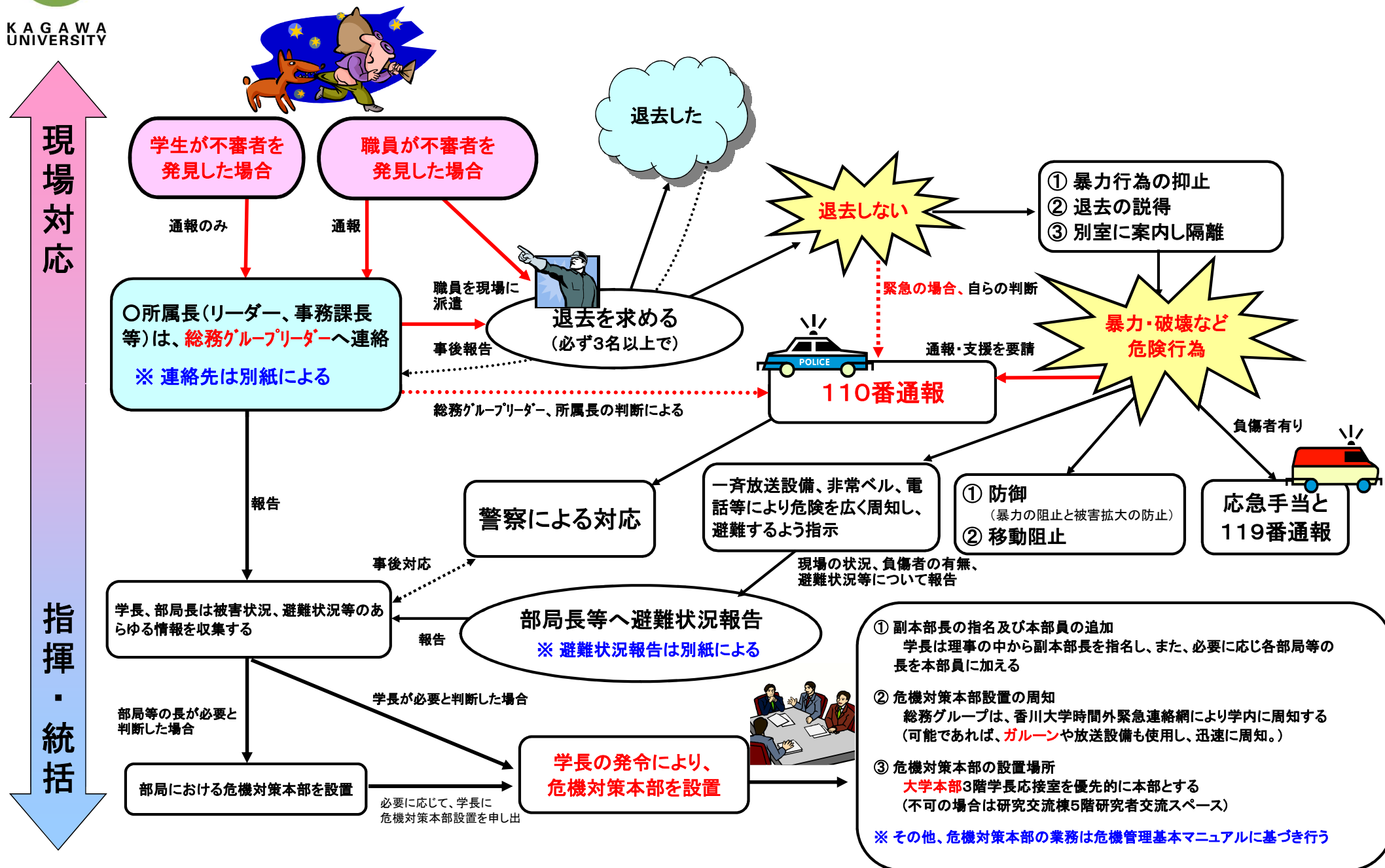


その他の連絡先)

理事(教育担当)	087-832-1002
理事(研究・産学官連携・教員評価担当)	087-832-1661
理事(企画・評価・広報担当)	087-832-1660
副学長(情報・危機管理・学術・特命担当)	087-832-1003
副学長(国際戦略・グローバル環境整備担当)	087-832-1006
副学長(産学官連携・特命担当)	087-832-1005
副学長(医療担当)	087-832-1663
監事	087-832-1008
教育・学生支援部長	087-832-1141
学務グループリーダー	087-832-1142
修学支援グループリーダー	087-832-1150
学生生活支援グループリーダー	087-832-1160
入試グループリーダー	087-832-1180
就職支援グループリーダー	087-832-1162
教育企画担当	087-832-1143
教員免許企画担当	087-832-1175
国際グループリーダー	087-832-1177
学術部長	087-832-1310
研究協力グループリーダー	087-832-1311
情報図書グループリーダー	087-832-1241
情報グループリーダー	087-832-1031
地域・産学官連携推進グループリーダー	087-832-1356
総務部長	087-832-1010
総務グループリーダー	087-832-1011
総務グループ(秘書)	087-832-1020
人事グループリーダー	087-832-1040
給与福利グループリーダー	087-832-1042
企画グループリーダー	087-832-1030
業務改善グループリーダー	087-832-1305
広報グループリーダー	087-832-1027
財務部長	087-832-1060
経営企画グループリーダー	087-832-1061
資金グループリーダー	087-832-1080
経理グループリーダー	087-832-1105
監査室長	087-832-1101
環境整備グループリーダー	087-832-1120
医学部学務課長	087-891-2069
医学部総務課長	087-891-2020
医学部管理課長	087-891-2017
医学部経営企画課長	087-891-2045
医学部医事課長	087-891-2050
医学部医療支援課長	087-891-2053
保健管理センター(幸町)	087-832-1284
保健管理センター(医学部分室)	087-891-2364
保健管理センター(工学部分室)	087-864-2035
保健管理センター(農学部分室)	087-891-3040

不審者対応マニュアル（平日・勤務時間中）

但し、附属病院、附属学校園等については、それぞれのマニュアルにより対応する

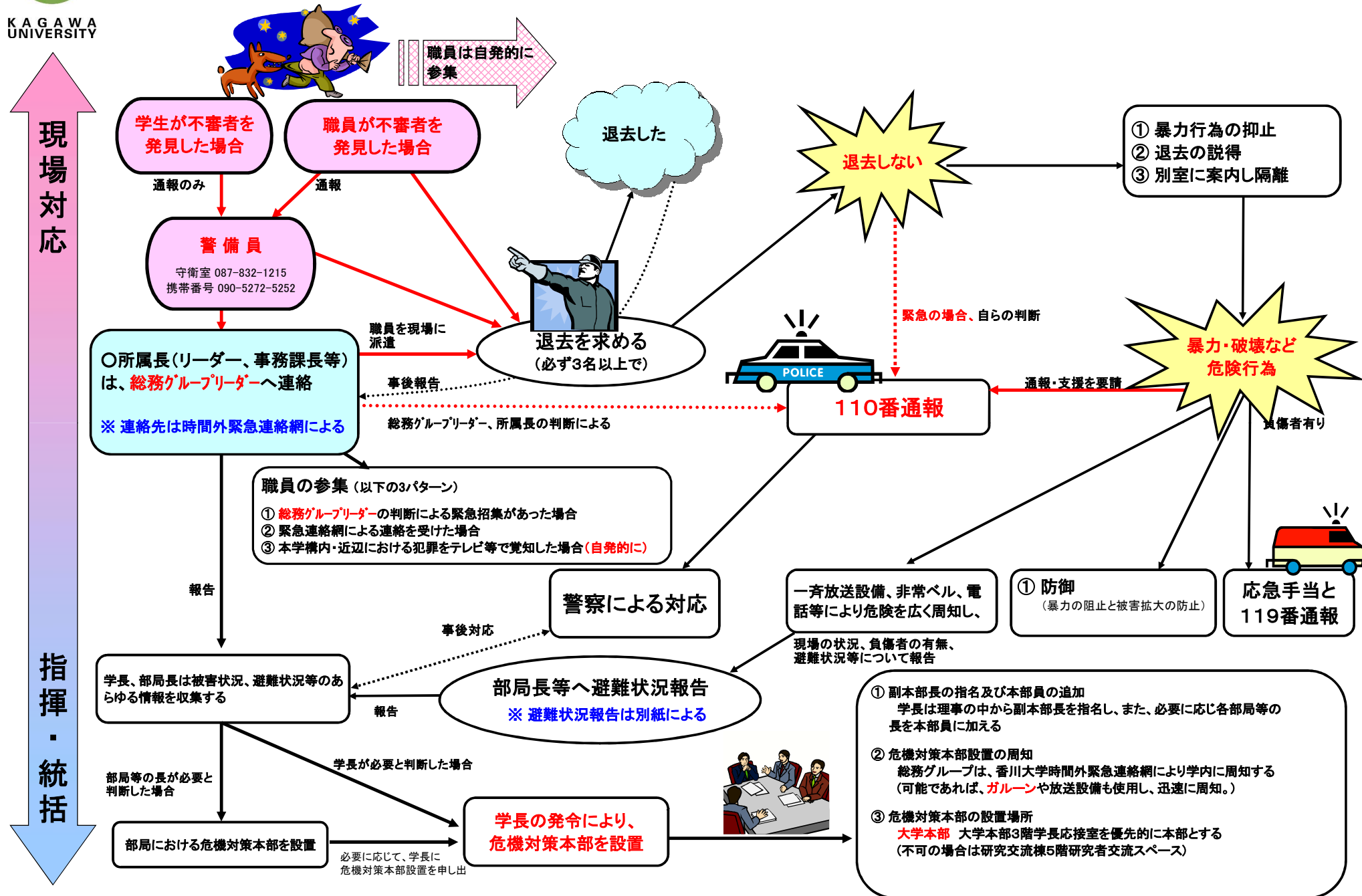




KAGAWA
UNIVERSITY

不審者対応マニュアル（夜間・休日）

但し、附属病院、附属学校園等については、それぞれのマニュアルにより対応する



1. 不審者の侵入に備えて

- ・ 構内の巡視を行い、見通しの悪い場所や簡単に侵入できる場所はないか確認する。
- ・ 火災報知器、放送設備等の使用方法や設置場所などを確認しておく。
- ・ 二つ以上の別な方向への避難経路を決めておく。
- ・ 廊下や出入口、階段などには避難の妨げになるようなものを置かない。
- ・ 警備体制や警備員との連絡体制を定期的に確認し、見直しを行う。
- ・ 構内入口付近に案内板を設置し、各施設の入口に、施設内の案内や順路を示しておく。



2. 不審者かどうか

- ・ 声をかけて、用件をたずねる。
 - ① 用件が答えられるか。また、正当なものか。
 - ② 職員に用事があるときは、氏名、所属等が答えられるか。
- ・ 不自然な場所に立ち入っていないか。
- ・ 凶器や不審なものを持っていないか。
- ・ 不自然な行動や暴力的な態度はみられないか。

3. 退去を求める

- ・ 別紙「連絡先一覧(不審者発見時)」により、担当職員へ連絡する。
- ・ 言葉や相手の態度に注意しながら、丁寧に退去するよう説得する。身を守るために相手から1m～1.5m離れる。
- ・ 次のような場合は、不審者として110番通報する。
 - ① 退去の説得に応じない。
 - ② 暴力的な言動をする。
- ・ 一旦退去しても、再び侵入する可能性もあるので、構外に退去したことを見届ける。また、対応した職員は、しばらくの間その場に残って様子を見る。

4. 不審者を隔離する

- ・ 凶器を持っていない場合は、別室に案内し、隔離する。
 - ① 出入口が1ヶ所で強固な扉の部屋がよい。
 - ② 不審者を先に奥に案内し、対応者は入口付近に位置する。すぐに避難できるように入口の扉は開けておく。
- ・ 複数の職員で暴力行為の抑止と退去の説得をする。



5. 110番通報

- ・ 落ち着いて不審者の位置や様子、被害の有無について正しくはっきりと知らせること。(分かる範囲でよい。)

(例) 「香川大学構内に男が侵入し暴れております。」
「場所は幸町1番地1号の香川大学大学本部3階です。」

「男はナイフを所持しています。」
「職員5名が男を会議室に隔離し、その他職員は、現在避難を行っております。」
「ナイフで切りつけられた者が〇〇名おります。うち〇名は重体です。」
「私は香川大学〇〇所属の〇〇です。電話番号は〇〇〇〇です。」

- ・ 職員は、道路に出てパトカー等の誘導を行う。
- ・ 職員は、パトカー等の進入路の確保(バリカーの撤去等)を行う。



5. 避難指示

- ・ 放送設備または電話を使用する。放送設備を使用する際は、あらかじめ決めておいた文例を用いて、不審者に気付かれず、不審者を刺激しないよう工夫する。

(待機と支援要請の一例)

「これから本学理事長の離任式を行いますので、次の放送があるまで全員待機してください。また、〇〇グループ職員は〇〇へ集合してください。」

(避難指示の一例)

「これから本学理事長の離任式を行いますので、全員アムニティ広場に集合してください。また、〇〇室前は作業点検中のため通らないようにしてください。」

6. 避難するときの注意

- ・ 施設に不慣れな来客者や障害者の方などの避難を積極的に支援する。
 - 施設に不慣れな方
 - ・ 避難路、避難場所等を伝達する。
 - ・ 必要に応じて誘導する。
 - 聴覚障害の方
 - ・ 所在を確認する。
 - ・ 不審者情報を聴覚障害の方に筆談ボード、メモ等で情報を伝達する。必要に応じて携帯電話を活用する。
 - ・ 状況に応じて誘導、介助する。
 - ・ 避難先での情報伝達に配慮し、コミュニケーションを確保する。
 - 視覚障害の方
 - ・ 所在を確認する。
 - ・ 音声、拡大文字等で情報を伝達する。必要に応じて携帯電話を活用する。
 - ・ 状況に応じて誘導、介助する。
 - ・ 避難先での情報伝達に配慮し、コミュニケーションを確保する。
 - 肢体不自由の方
 - ・ 所在を確認する。
 - ・ 状況に応じて誘導、介助する。



7. 避難状況の確認

- ・ 別紙「[避難状況報告の流れ図](#)」を参照のこと。
- ・ 落ち着いて、避難完了者、負傷者の有無等について、具体的な数字をふまえて、正しくはっきりと知らせること。

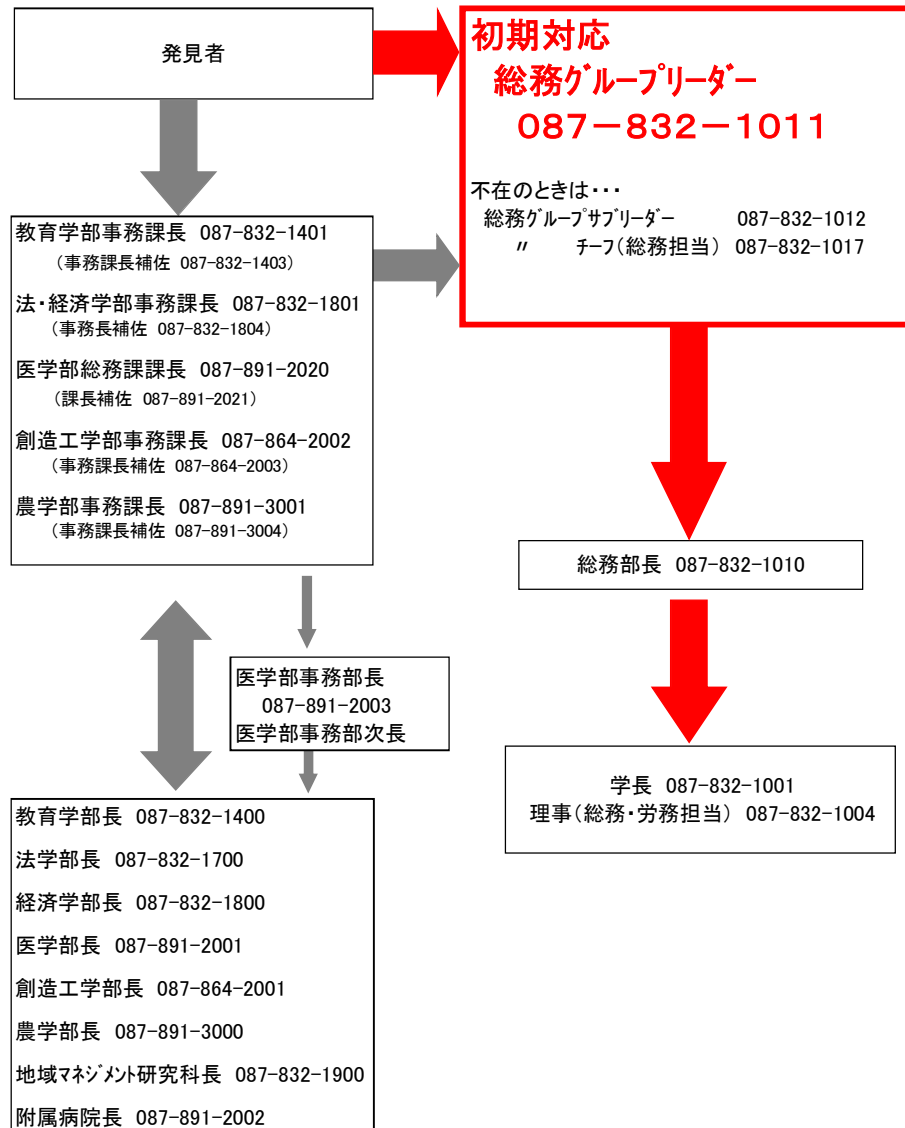
（例）「〇〇グループ職員〇〇名のうち、出張等による不在者〇〇名。残り〇〇名は無事避難しました。」

「〇〇グループ職員〇〇名のうち、負傷者が〇〇名。〇〇グループ職員〇名が救助に当たっております。残り〇〇名は無事避難しました。」

連絡先一覧(不審者発見時)
時間外:緊急連絡網による

別紙

主な連絡先)



その他の連絡先)

理事(教育担当)	087-832-1002
理事(研究・産学官連携・教員評価担当)	087-832-1661
理事(企画・評価・広報担当)	087-832-1660
副学長(情報・危機管理・学術・特命担当)	087-832-1003
副学長(国際戦略・グローバル環境整備担当)	087-832-1006
副学長(産官学連携・特命担当)	087-832-1005
副学長(医療担当)	087-832-1663
監事	087-832-1008

教育・学生支援部長	087-832-1141
学務グループリーダー	087-832-1142
修学支援グループリーダー	087-832-1150
学生生活支援グループリーダー	087-832-1160
入試グループリーダー	087-832-1180
就職支援グループリーダー	087-832-1162
教育企画担当	087-832-1143
教員免許企画担当	087-832-1175
国際グループリーダー	087-832-1177

学術部長	087-832-1310
研究協力グループリーダー	087-832-1311
情報図書グループリーダー	087-832-1241
情報グループリーダー	087-832-1031
地域・産学官連携推進グループリーダー	087-832-1356

総務部長	087-832-1010
総務グループリーダー	087-832-1011
総務グループ(秘書)	087-832-1020
人事グループリーダー	087-832-1040
給与福利グループリーダー	087-832-1042
企画グループリーダー	087-832-1030
業務改善グループリーダー	087-832-1305
広報グループリーダー	087-832-1027
財務部長	087-832-1060
経営企画グループリーダー	087-832-1061
資金グループリーダー	087-832-1080
経理グループリーダー	087-832-1105
監査室長	087-832-1101

環境部長	087-832-1118
施設企画グループリーダー	087-832-1117
環境整備グループリーダー	087-832-1120

医学部学務課長	087-891-2069
医学部総務課長	087-891-2020
医学部管理課長	087-891-2017
医学部経営企画課長	087-891-2045
医学部医事課長	087-891-2050
医学部医療支援課長	087-891-2053

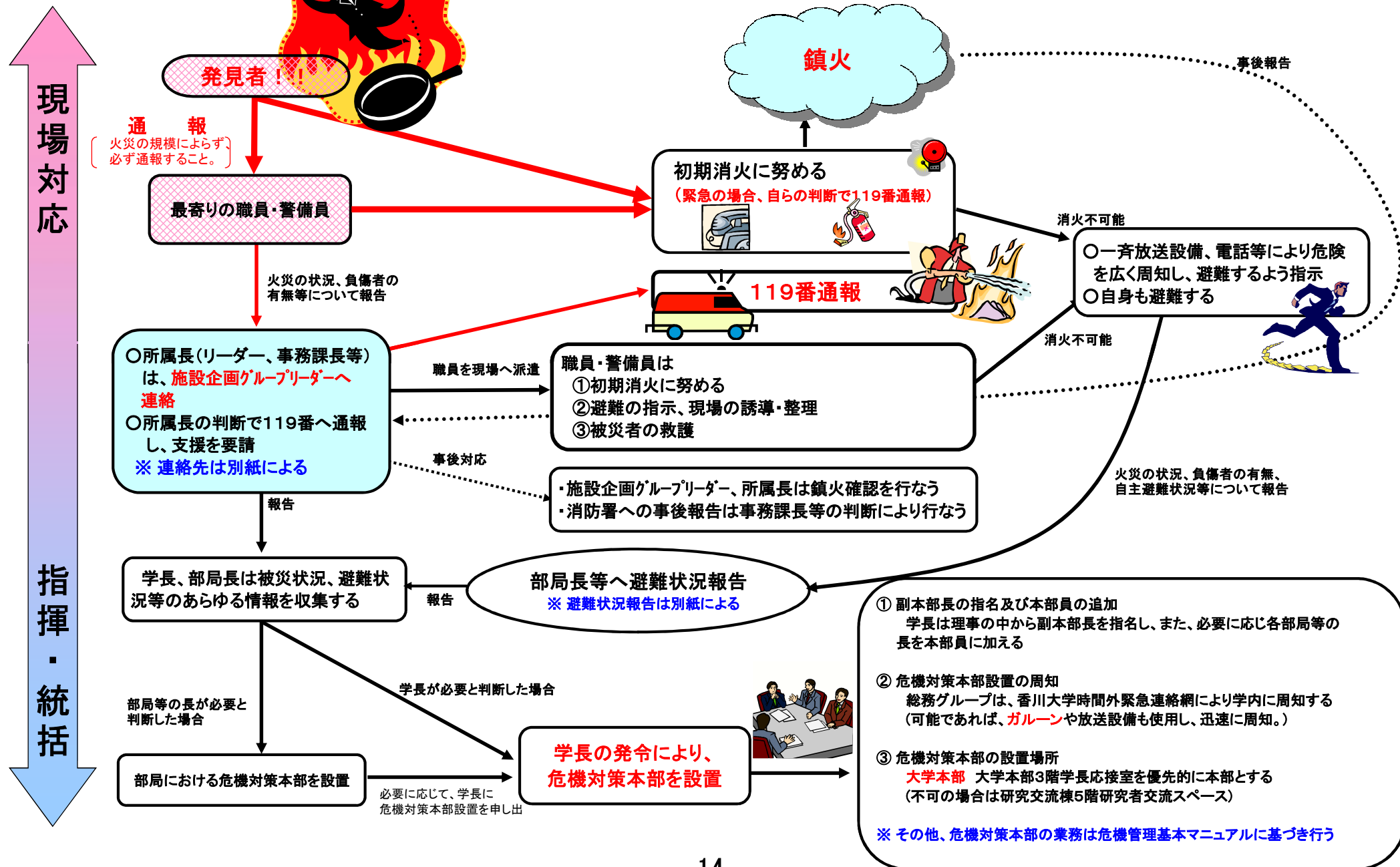
保健管理センター(幸町)	087-832-1284
保健管理センター(医学部分室)	087-891-2364
保健管理センター(工学部分室)	087-864-2035
保健管理センター(農学部分室)	087-891-3040



KAGAWA
UNIVERSITY

火災対応マニュアル（平日・勤務時間中）

但し、附属病院、附属学校園等については、それぞれのマニュアルにより対応する





1. 火災の発生に備えて

- ・ 火気近くに燃えやすいものを置かない。
- ・ 消火器、消火栓、三角バケツ、火災報知器、放送設備等の使用方法や設置場所などを確認しておく。
- ・ 二つ以上の別な方向への避難経路を決めておく。
- ・ 廊下や出入口、階段などには避難の妨げになるようなものを置かない。
- ・ 喫煙は所定の位置で。
- ・ 非常持出物品の内容及び置き場所について確認しておく。
- ・ 日頃から、使用しないときはガスの元栓を閉めておく。



2. 火災を発見したとき

- ・ とにかく大声で周囲に知らせる。また、火災報知器を使用する。
- ・ 別紙「連絡先一覧(火災発生時)」により、担当職員へ連絡する。
- ・ 明らかに消火不可能な場合は避難し、119番通報する。
(天井に火が燃え移ったときが避難の目安。)
- ・ 重傷者がいる場合は、119番通報する。



3. 初期消火

・ 消火器の使用方法

- ① 黄色いピンを上引き抜く。
- ② ホースを外して目標に向ける。(炎に向けず、燃えているものに向ける。)
- ③ 手元のレバーを強く握りしめる。(手前からホウキで掃くように。)

・ 消火栓の使用方法

- ① ホースをのぼす。
- ② ポンプ起動スイッチを押す。
- ③ 開閉弁を開く。
- ④ 出火場所へ行き、燃えているものへ放水。

・ 三角バケツによる消火方法

(三角バケツは5～6回に分けて水をかけられる)



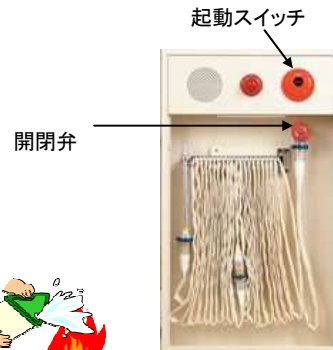
① キャップをはずし両足を開いて腰を落とす



② 前に押し出すような気持ちで1回目はやや下に向けて放水



③ 2回目からは火元の上の方から数回に分けて放水



4. 119番通報

- ・ 落ち着いて火災発生現場の位置と目標、火災状況及び避難状況を正しくはっきりと知らせること。(分かる範囲でよい。)

- (例) 「火事です。」
 「幸町1番地1号の香川大学事務局管理棟3階給湯室から出火です。」
 「出火原因はガスコンロの異常によるものと思われます。」
 「消火器による初期消火を行いました、消火不可能な状態です。」
 「建物内の職員は初期消火を諦め、現在、避難を行っているところです。」
 「逃げ遅れたものがおり、5階建ての屋上で救助を待っております。」
 「火傷による負傷者が〇〇名おります。」
 「私は香川大学〇〇所属の〇〇です。電話番号は〇〇〇〇です。」

- ・ 職員は、道路に出て消防車等の誘導を行う。
- ・ 職員は、消防車等の進入路の確保(バリアカーの撤去等)を行う。



5. 避難指示

- ・ 放送設備または電話を使用。無理ならば、職員が各室を回り口頭連絡する。

- (例) 「大学本部3階給湯室から出火です。」
 「出火元を避けて、速やかにアメニティ広場まで避難してください。」
 「リーダー(又は事務課長)は避難後、速やかに職員の避難状況の確認を行ってください。」

6. 避難するときの注意

- ・ 姿勢を低くして、ぬれたハンカチやタオルを口と鼻に当て、煙を吸わないようにする。
 - ・ 非常持出物品を持って避難する。
 - ・ エレベーターは使用しない。
 - ・ 施設に不慣れな来客者や障害者の方などの避難を積極的に支援する。
- 施設に不慣れな方
- ・ 避難路、避難場所等を伝達する。
 - ・ 必要に応じて誘導する。
- 聴覚障害の方
- ・ 所在を確認する。
 - ・ 警報情報を聴覚障害の方に筆談ボード、メモ等で情報を伝達する。必要に応じて携帯電話を活用する。
 - ・ 状況に応じて誘導、介助する。
 - ・ 避難先での情報伝達に配慮し、コミュニケーションを確保する。
- 視覚障害の方
- ・ 所在を確認する。
 - ・ 音声、拡大文字等で情報を伝達する。必要に応じて携帯電話を活用する。
 - ・ 状況に応じて誘導、介助する。
 - ・ 避難先での情報伝達に配慮し、コミュニケーションを確保する。
- 肢体不自由の方
- ・ 所在を確認する。

- ・状況に応じて誘導、介助する。
- ・延焼を少しでも抑えるため、ドア及び窓は閉める。鍵はかけない。
(但し、地震のときはドアが変形して開かなくなることがあるので、開放して避難する。)
- ・いったん避難したら再び中には戻らない。



7. 避難状況の確認

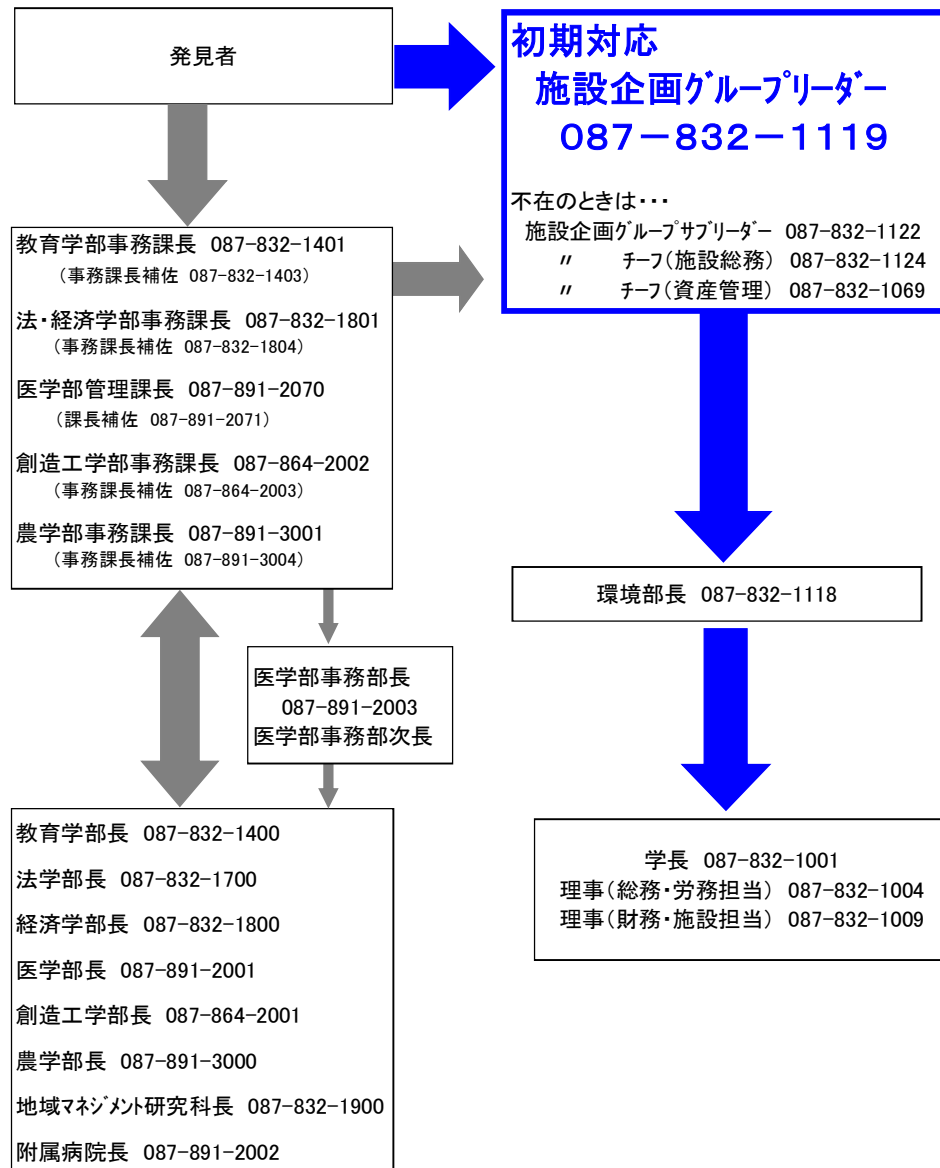
- ・別紙「[避難状況報告の流れ図](#)」を参照のこと。
- ・落ち着いて、避難完了者、負傷者、要救助者等について、具体的な数字をふまえて、正しくはっきりと知らせること。

(例) 「〇〇グループ職員〇〇名のうち、出張等による不在者〇〇名。残り〇〇名は無事避難しました。」

「〇〇グループ職員〇〇名のうち、負傷者が〇〇名。〇〇グループ職員〇名が救助に当たっております。残り〇〇名は無事避難しました。」

「〇〇グループ職員〇〇名のうち、〇〇名が逃げ遅れ屋上に避難しております。残り〇〇名は無事避難しました。」

連絡先一覧(火災発生時)
時間外:緊急連絡網による
主な連絡先)



別紙

その他の連絡先)

理事(教育担当)	087-832-1002
理事(研究・産学官連携・教員評価担当)	087-832-1661
理事(企画・評価・広報担当)	087-832-1660
副学長(情報・危機管理・学術・特命担当)	087-832-1003
副学長(国際戦略・グローバル環境整備担当)	087-832-1006
副学長(産官学連携・特命担当)	087-832-1005
副学長(医療担当)	087-832-1663
監事	087-832-1008

教育・学生支援部長	087-832-1141
学務グループリーダー	087-832-1142
修学支援グループリーダー	087-832-1150
学生生活支援グループリーダー	087-832-1160
入試グループリーダー	087-832-1180
就職支援グループリーダー	087-832-1162
教育企画担当	087-832-1143
教員免許企画担当	087-832-1175
国際グループリーダー	087-832-1177

学術部長	087-832-1310
研究協力グループリーダー	087-832-1311
情報図書グループリーダー	087-832-1241
情報グループリーダー	087-832-1031
地域・産学官連携推進グループリーダー	087-832-1356

総務部長	087-832-1010
総務グループリーダー	087-832-1011
総務グループ(秘書)	087-832-1020
人事グループリーダー	087-832-1040
給与福利グループリーダー	087-832-1042
企画グループリーダー	087-832-1030
業務改善グループリーダー	087-832-1305
広報グループリーダー	087-832-1027
財務部長	087-832-1060
経営企画グループリーダー	087-832-1061
資金グループリーダー	087-832-1080
経理グループリーダー	087-832-1105
監査室長	087-832-1101

環境整備グループリーダー	087-832-1120
--------------	--------------

医学部学務課長	087-891-2069
医学部総務課長	087-891-2020
医学部管理課長	087-891-2017
医学部経営企画課長	087-891-2045
医学部医事課長	087-891-2050
医学部医療支援課長	087-891-2053

保健管理センター(幸町)	087-832-1284
保健管理センター(医学部分室)	087-891-2364
保健管理センター(工学部分室)	087-864-2035
保健管理センター(農学部分室)	087-891-3040

点線(←――)は各部局長等の判断による

避難状況・負傷者の有無を報告！



被害状況調査票（ 月 日 時現在）

大学番号： 大学名： 香 川 大 学

【連絡窓口】

部 署 名：

担当者名：

電話番号：

ファクス番号：

メールアドレス：

■ 学校管理下の人的被害

学校名	※該当被害に○を付けて下さい。		被害者の情報（学生生徒／教職員） 被害の状況・内容 治療手当・回復等の状況
	重傷	軽傷	

■ 休校／短縮授業／始業延期の措置

措置を行った日	学校名	※該当措置に○を付けて下さい。		
		休校	短縮授業	始業延期

※ 学校全体として措置を行った場合に限る。（授業単位の休講措置等は除く）

※ この調査票は、災害による被害の状況を把握し、関係機関へ報告するためのものです。

様式1

被害状況調査票(施設被害)

法人名 国立大学法人香川大学

1 被害の種類 (台風〇〇号)

2 被害発生日及び概況 〇月〇日

3 被害状況

所在地	学部・団地名	施設名 (要求有り〇印)	被害の状況	概算被害金額 (千円)
合 計				

※ この調査票は、災害による被害の状況を把握し、関係機関へ報告するためのものです。